

ぬこの自覚

至子丸は作りのぬこをひらつた

太ぬこ 痛股へもつて行くよ

大丈夫 そんてうれすけよ

と川ゆれ 夫婦でそんてうれよ

二人 昔仕事かき

下キをたてた

ケル 入る入るの白 帽子をかぶせたり

ワケんしをうたたりと 字票を見せられた

アタ 仕事かき かきると

棚とふいて ぶやう用のお菓子は

新屋いづばいにちうかうていよ

おちあず

こんをことしつ だのどしどしかりん

ぬこは 部屋9 作すやの 行き してん作り

と ちいこすうていよ としていよ

ちうかう 瓦ぶらかして 片が片をわらう

かゆいそうと作りぬこ 餅作みりして

いっこよたおた

と言つていん

このおと 親に取ったことない

仲間にも取ったことがない

一月甲 一人ぼつちでマニマニといた

さあしたつ瓦のまじしれずん

たすく 郵物えんり

えん費に

たわこの自覚とていう措をさいた

金子トマから三ヶ月半年の おやのそげにみく

それから かううわん

このおと ぶねこの自覚をなく

人物のようになら

おのねこのおこの自覚をすかすのた

その後 かいまにみうことおと

おのねこの とうしていさやう

2024
3/14